

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

〈ホットNews〉

地域における 三重大大学の役割

01・04

〈特集〉

地域に根ざして

05・12

〈特集〉

学ぶ・育む プログラム「X」

13・16

気になるNews

17・18

スポット／クラブ・サークル

19・20

お知らせ・施設から

21・22

お知らせ・三重大学公開講座

23・24

歴史街道シリーズ

26

ホットNewsは

地域における 三重大大学の役割

地域の“知”として



vol.11
2007 AUTUMN

地域における

三重大大学の役割



三重大学三翼会館
(1936年竣工、登録有形文化財)



三重大学は 地域社会の発展に貢献しています



高等教育機関として

「感じる力」「考える力」「生きる力」を躍動させる場として、社会の新しい進歩を促すと同時に、他者に対する寛容と奉仕の心を併せもった感性豊かな人材を育成しています。三重大学は、課題探求心、問題解決能力、研究能力を育てるとともに、学際的・独創的・総合的視野をもち、国際的にも活躍できる人材を育成しています。



学術・文化の拠点として

三重大学が保有する学術資料の公開・展示、シンポジウム等の開催や県内の図書館等関連諸団体への学術情報の提供を行っています。また、地域の学術情報の拠点として、三重県と連携して伊勢～斎宮地域の歴史や文化についてのデジタルアーカイブ化に着手。今後、三重県全域に範囲を拡大する予定です。

三重県で唯一の特定機能病院として

- 高度先端医療を実践しています。
 - 高度先端医療に関する研究・開発・評価・研修を行っています。
 - 県内の関連病院との連携において中心的役割を果たしています。
- 【 外来患者数 / 1日平均1,146人 】
- 現在、よりよい医療を実践するために大規模な再開発を進めています。



地震、防災研究の拠点として

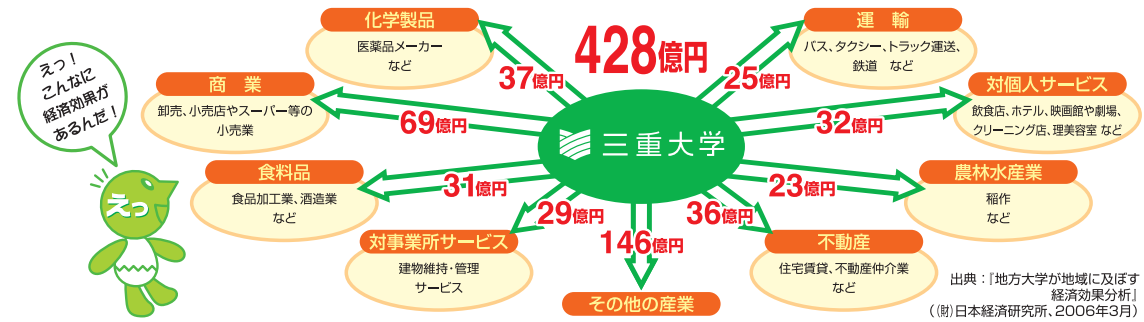
2005年12月、三重県と「災害対策相互協力協定」を締結しました。
(全国でも珍しい、県と国立大学法人の協定締結)



地域政策との協働や地域特有の問題の研究

みえメディカルバレープロジェクトやディスプレイ産業、環境・自然エネルギー産業など、技術研究が産業へ社会へと展開しています。また、17年度の共同研究の約52%を県内企業が占めています。このほか、英虞湾浄化、干潟の造成、アマモ場の造成や地域医療の研究、東紀州文化研究などこの地域特有の自然や歴史文化など、地域との強い接着力を持ち続けています。

地域に与える経済効果



三重大学の プロフィール

【URL】
<http://www.mie-u.ac.jp/basic/>

- 設立●
- 三重大学は、旧制の三重師範学校、三重青年師範学校および三重農林専門学校を母体とし、昭和24年5月31日新制大学として誕生(学芸学部、農学部の2学部)
- 昭和41年 学芸学部を教育学部に名称変更
- 昭和44年 工学部を新設
- 昭和47年 三重県立大学が国移管され、医学部、水産学部を増設
- 昭和58年 人文学部を新設
- 昭和62年 農学部と水産学部を統合・改組して生物資源学部を設置
- 平成16年4月1日 国立大学法人に移行
- 現在、5学部を擁する総合大学

●広さ●

5つの学部と病院が同じ敷地内(527,185m²)にあります。また農場、演習林、水産実験所、実習船基地や附属学校を含めると敷地面積は、5,490,451m²となります。

- 規模●
- ・人文学部 附帯施設農場
- ・教育学部 附帯施設演習林
- ・医学部 水産実験所
- ・工学部 実習船基地
- ・生物資源学部 附属学校
- ・附属病院 練習船勢水丸(国立大学でも珍しい)

◎学生数

学部 / 6,212名
(男3,771名・女2,441名)

大学院 / 1,182名
(男890名・女292名)

専攻科 / 15名
(男3名・女12名)

(外国人留学生(内数))

学部 / 69名
(男38名・女31名)

大学院 / 124名
(男73名・女51名)

附属学校生徒等 / 1,363名

◎教員数 / 732名
(教授248名・准教授224名・講師74名・助教186名)

◎卒業生 / 57,394名

(2007年5月1日現在)

地域の“知”として

三重大学では、毎年300近いシンポジウムやフォーラム、講座を開催しています。また、地域の方々と共に地域特有の問題や文化についての調査研究を行っています。

各地域にある大学の窓

- 四日市フロント
- 知の支援センター
- 2008年中設置予定 伊賀拠点
- 伊勢湾・熊野地域研究センター 分室
- 東京オフィス

HOT NEWS ホットニュース／地域における三重大学の役割

HOT NEWS ホットニュース／地域における三重大学の役割

三重大学が地域で開催しているいろんな事をほんの少し紹介しま〜す。(2006年〜2007年の中より)

さあ、僕たちと一緒に覗いてみよう〜

小・中学生700名に調査。生活リズムが整っていると、頭も冴え、何事にも前向きで明るい。体も心も元気。

家族で早寝早起き 朝ご飯を実行しよう!!



中西良文准教授(教育) & 四日市市、四日市市教育委員会

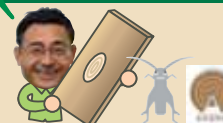
津波避難訓練



東海・東南海・南海地震シンポジウム

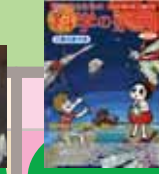
スギノアカネトラカミキリムシによる 損傷木材(あかね材)を科学的に5段階に分けて利用。

需要が停滞していたあかね材の市場拡大の期待!!



徳田迪夫教授(生物資源) & 松阪地区木材協同組合

酒作り



青少年のための科学の祭典



出前授業

小林理事(情報・国際交流担当)・副学長

高齢者は、転倒骨折が要介護になるケースが大です。運動の正しいやり方を学習しましょう。そして、毎日、家で体操を行うことが大事!!

転倒骨折予防教室 開催!!



後藤洋子教授(教育) & 津市

全国歴史の道会議

リーディング産業展

フレンドシップコンサート

モーツァルトレクチャーコンサート

三重大学文化フォーラム

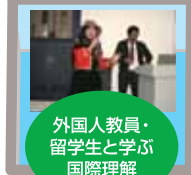
志摩市 朝日町 伊賀市



学術講演会・シンポジウム・フォーラム

フォーラム・オン・キャンパス

たのしい 仮説実験講座



外国人教員・留学生と学ぶ国際理解

新しい手法で学ぶ [ISO14000入門]

海上体験教室

臨海実習教室

法則カフェ

一日体験入学

みえアカデミック セミナー 三重大学

みえアカデミック セミナー 移動講座

グルメディカル ツアー

紀南地域で 子育て継続ケアサポート ~生まれる前から小学校卒業まで~

国際環境シンポジウム「四日市学」

人文学部公開ゼミ

ドイツ語市民講座

三重大学は、地域に根ざした、様々な活動を展開しています。

Jrロボコン 2006in三重

スーパーサイエンスハイスクール

?発見塾 (津市民文化祭)

工学 分子素材工学科リカレント教育講座

医学部 公開講座

参加型教育の発想と手法

ウェルネスの旅

四日市市民大学

桑名市民講座

一身体校区カルチャースクール

神宮林から染み出す雨水が矢湾に流れ込み、良質な岩ガキが生育。

南伊勢町の「旬」が並ぶアンテナショップを東京・葛飾区に出店

理科教室 免許法認定公開講座

伊賀上野城下町の景観計画づくり!!

死亡率が低く、優れた真珠を作るアコヤガイの精子凍結保存に成功!!

高大連携サマーセミナー

パンゲア アクティビティ

シンポジウム

公開講座

小中高生向け

大人向け

キャンパス利用イベント

シンポジウム ワークショップ in須賀利

天神祭の舞台である城下町の町並みを守り育てます。

赤潮・酸欠等で大量にアコヤガイが死亡しても、液体窒素で凍結しておいた精子から新たに優れた貝が育てられるよ。

健康に音楽にスポーツに... 大学って「知の宝庫だね

昨年度の研究テーマから

(調査対象地域：鈴鹿市)

受講生が鈴鹿市で行った「日系南米人の中学生の就学実態調査」では、子供たちが学校生活で抱えている困難や、公立学校とブラジル人学校での子供たちの就職観の違い、通説とは異なる親たちの教育問題への関心の高さなど興味深い事実が明らかになりました。この調査結果はマスコミにも注目され、新聞にも取り上げられました。

この研究を行った受講生のコメント

自分たちでアンケートを作成し、データ収集することは大変でしたが、外国籍の子供たちの現状報告ができたことに大きな意義を感じています。今後も増加すると考えられる、こうした子供たちのよりよい学校生活の実現に、私たちの調査が少しでも役に立てばと思います。ご指導いただいた先生、また協力していただいた学校の先生方や生徒のみなさんに感謝しています。

人文社会科学研究所・地域文化論専攻 2年生
大川智船／オチャンテ・カルロス

今年度の研究テーマ

(調査対象地域：松阪市)

現在、受講生が次のようなテーマで調査・研究を進めています。

- 戦国武将・蒲生氏郷の研究
- 小津安二郎の作品における「家族」
- 「ミニ動物園」と動物愛護条例
- 景観協定による景観形成

来年1月末か2月初旬に、松阪市で現地報告会を開催する予定です。松阪市在住の方はぜひお越しください。日時が確定したら、人文学部HP他でお知らせします。

人文学部HP
【URL】<http://www.human.mie-u.ac.jp/>

◎地域と学ぶ

受講生の1年間の研究成果は、論文集*2にまとめられるとともに、調査対象地域で開催される「現地報告会」で発表されます。受講生が明らかにした地域の特色や諸問題を、あらためて地域の方々と共に学ぶことが目的で、調査でお世話になった方や、一般の市民の方々にご参加いただいています。昨年度の現地報告会では、「短時間でよく調査されたものと感心する」、「いろいろ参考になることもあり有意義だった」といった感想をいただきました。

◎授業から広がる地域連携

この授業での調査協力を契機として、地域と人文学部、地域と三重大学との友好協定が結ばれるなど、地域と教員との協力関係も広がりを見せています。

来年度の調査対象地域はみなさんのお住まいの市町村かもしれません。「三重の文化と社会」のこれからにご期待ください。

*1 三重の文学・歴史・思想・社会・地理・環境、地方制度・地方自治・地域産業と経済などを総合的に考究し、三重県地域の文化と社会を明らかにすることを目的とした授業科目。大学院生が自らその地域に関する研究課題を設定し、フィールドワークを行うことで、実践的に調査・研究能力を養うことができるのが特色。同時に、調査を通じて地域の人々と交流し、また現地報告会を行って研究成果を地域に還元するなど、大学の地域連携、地域貢献の一助となることを意図している。

*2 昨年度の研究成果をまとめた論文の概要は、人文社会科学研究所発行の地域交流誌「TRIO vol.8」(2007年3月発行)にも掲載しています。

こちらのHPでもご覧いただけます。
<http://www.human.mie-u.ac.jp/chiiki/trio/index.html>



◎地域に学ぶ

研究テーマを深く掘り下げるためには、現地でのフィールドワークが欠かせません。地域の方々の協力を得ながら、受講生はそれぞれ聴き取り調査やアンケート調査などの実地調査を行います。

例えば、昨年度、日系南米人の子供たちの就学問題を扱った受講生は、鈴鹿市の教育委員会や公立中学校・ブラジル人学校の先生方に聴き取り調査を行い、さらに学校の協力のもと、日系南米人の中学生とその保護者全員にアンケート調査を行いました。地域を学ぶということは、地域の方々から学ぶということでもあるのです。



▲現地報告会の様子

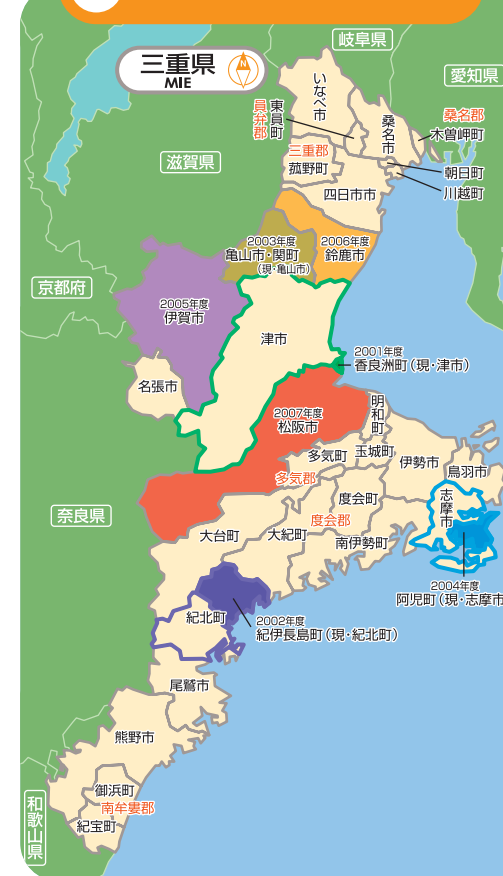
「三重の文化と社会」は、人文社会科学研究所(大学院)で開講されている授業科目の一つです。2001年に、大学院教育と地域連携との融合を目指して、地域文化論専攻と社会科学専攻の両専攻にまたがる科目として開設されました*1。

◎地域を学ぶ

この授業では、毎年、三重県内の特定の市町村を調査対象地域に選定します(図1)。受講生は、それぞれの専門分野を活かして、地域の特色や地域の抱える諸問題を学びます。

例えば、昨年度の調査対象地域である鈴鹿市では、高校生の就職問題、鈴鹿市の行財政改革の問題、日系南米人の子供たちの就学問題、鈴鹿山麓地域における生活文化の問題などが研究テーマとなりました。

図1 これまでの調査対象地域



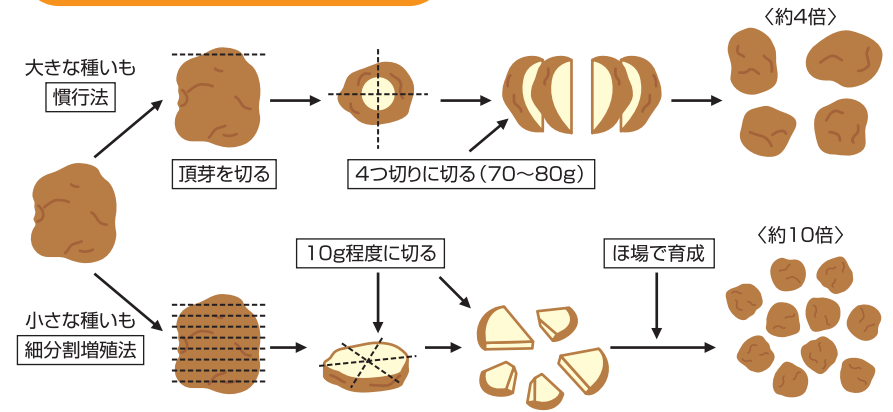
特集
地域に
根ざり
て

地域を学ぶ・地域に学ぶ・地域と学ぶ

人文社会科学研究所「三重の文化と社会」

三重大学人文学部・准教授
豊福 裕二 Toyofuku, Yuji

図1 種いもの切り方



連携の歩み

- 2000年12月 多気町よりイセイモの研究協力の依頼
- 2001年3月 多気町で丹波ヤマノイモ栽培について講演(梅崎教授)
- 2001年4月 資源作物学研究室でイセイモの試作開始
- 2004年4月 資源作物学研究室で細分割増殖法の実験開始
- 2005年4月 相可高等学校で細分割増殖法の実験開始
- 2006年6月 多気町と生物資源学研究科の相互友好協力協定締結
- 2007年3月 三重県科学技術振興センター農業研究部が共同研究に参加



▲相可高等学校総合農場にて植え付け中



▲多気町のイセイモほ場で調査(2007年6月21日)



コラム 三重県立相可高等学校生産経済科

生物生産と経済のしくみを学び、経済に強く、環境に優しい産業人を育成するのが狙い。イセイモの試験栽培の他、初級園芸福祉士の取得、松阪牛の肥育や空芯菜栽培による水質浄化など、専門性を活かした取り組みに定評がある。

◎細分割増殖法とは

イセイモ栽培の慣行法では、約80g(1個)の種いもを植付け、300~400gのいもを収穫します。しかし、栽培中に病虫害で枯れたり、腐敗したものを除き、さらに翌年の種いもを残すと、実際の収穫量の半分程度しか出荷できません。そのため、市場価格では2kgで約4000円と非常に高価です。

より多くのいもを出荷するためには、たくさんの種いもを作る必要があります。調査の結果、大きな種いもから大きないもが採れますが、収穫いもと種いもの比率(増殖率)でみると、小さな種いもを植えるほど増殖率が高いことがわかりました。

出荷用の大きないもは慣行法で栽培し、翌年の種いも生産には小さな種いもを10g程度に切って用いると、効率的な生産が行えます。これが「細分割増殖法」です(図1)。

◎連携の成果

技術としては確立しており、多気町、三重県立相可高等学校、JA多気郡と連携してイセイモの増産に努めています。

相可高等学校生産経済科では、種いもを総合農場に植え、試験栽培を行っています。この実験をJA多気郡の農家が手伝い、途中経過を観察しています。過去2年間の結果を見ると、細分割増殖法を用いて育てたいもは、従来の種いもよりも効率よく成長したため、地域で徐々に普及してきました。今後、連携を深めていくことで、イセイモの収穫・出荷量が増え、新規参入する農家も出てくると思われます。

このように、産地に密着し、現場に対応できる新技術の開発・普及のための取り組みこそが、地域大学としての大きな存在意義といえるでしょう。

特集 地域に根ざして

産地で役立つ 新技術の開発・普及

地域と連携してイセイモ生産の再興を目指す



三重大学大学院生物資源学研究科・教授
梅崎 輝尚 Umezaki, Teruhisa
[URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimei/rikuken/lab2>

▲相可高等学校生産経済科、多気町役場、JA多気郡、三重県科学技術振興センターのみなさんと(相可高等学校総合農場にて)

◎地域からの依頼

イセイモは、丹波ヤマノイモ(京都・兵庫)、大和いも(奈良)、加賀丸いも(石川)などと同じヤマノイモ科のツクネイモ類に属するいもです。古くから栽培されており、大正天皇の即位時に宮中で行われた新嘗祭*では、ヤマノイモの代表として献上されたほど由緒あるもので、三重県多気郡が原産地であると言われています。ところが、他のいもに比べて栽培が困難なうえ、生産者の高齢化により作付け面積や生産量は徐々に減少しています。

2000年12月、イセイモ生産の再興を目指して取り組む多気町から、資源作物学研究室へ研究協力の依頼がありました。実態調査を行ったところ、種いも生産の効率化が重要であることを見出し、種いもを増やす新技術「細分割増殖法」を開発しました。

*新嘗祭/「しんじょうさい」ともいい、「新」は新穀を「嘗」はご馳走を意味する。新穀を得たことを神様に感謝する稲作儀礼のことで、毎年11月23日に全国の神社で行われる。宮中では、天皇が感謝をこめて新穀を神々に奉るとともに、自ら新穀を食される。



イセイモ 粘りに富んだとろろいも。アクが少なくコクのある味わいで、主に高級和菓子や料亭で重宝されている。

世界遺産に科学の目を

世界と地域の文化遺産を守る



特集
地域に
根ざって



①法華経寺五重塔 (千葉県市川市)



②妙成寺五重塔 (石川県羽咋市)



三重大学大学院工学研究科・教授
Hanazato, Toshikazu 花里 利一

[URL] <http://www.s.arch.mie-u.ac.jp/hanazato-lab/staff.html>

⑦津観音五重塔 (三重県津市)



③厳島神社五重塔 (広島県廿日市市)



④日光東照宮五重塔 (栃木県日光市)



⑤最勝院五重塔 (青森県弘前市)



⑥高田本山専修寺御影堂 (三重県津市)

紀元前5世紀に建てられたパルテノン神殿、7世紀末に建てられた法隆寺五重塔、

幾多の強い地震にも耐えてきた共通構造とは？

◎研究の原点はパルテノン神殿

西欧を代表する古代建築、ギリシア・アテネのパルテノン神殿と法隆寺五重塔はともに柔構造※1の特徴を持っています。耐震的にみれば、この他にも共通の特徴を持っています。もともと、パルテノン神殿やペルー・マチュピチュ遺跡などの地震国の世界遺産の耐震性を研究していましたが、この共通性について発表することがきっかけになり、坂本功東京大学名誉教授ら研究仲間にも恵まれて五重塔の研究を始めることになりました。

※1 柔構造とは、地震の周期に比べて、建物もつ固有固有周期(図b)が長いことをいい、超高層建築も柔構造です。

◎五重塔に科学の目を

五重塔の耐震性を現代の科学で明らかにしようと、全国各地の文化財五重塔の**振動調査**(9頁写真①~⑤)や飛鳥様式の高さ6mの木造五重塔の**振動台実験**を行っています。五重塔を実際に揺らす振動台実験では、心柱や相輪をはずした実験も行い、その制震効果を確かめています。現在も**地震観測**(9頁写真①⑦)を共同研究として行っています。

いままでの研究の結果、(図A)と(図B)のことがわかってきました。また、(図D)のように、古代の五重塔は、パルテノン神殿と同様にダボ※3を用いて単純に積み重ねた構法で、多くの仕口や継手で振動のエネルギーを吸収しています(図C)。

「五重塔は地震でなぜ倒れないか」を現代の科学(構造解析と観測)で明らかにする取り組みを続けています。耐震工学の目でみて一言で表すと、五重塔は「バランスのよい構造」と言えるでしょう。

◎文化遺産の保存修復に重要な、構造(工学)と歴史(文化)の「融合」

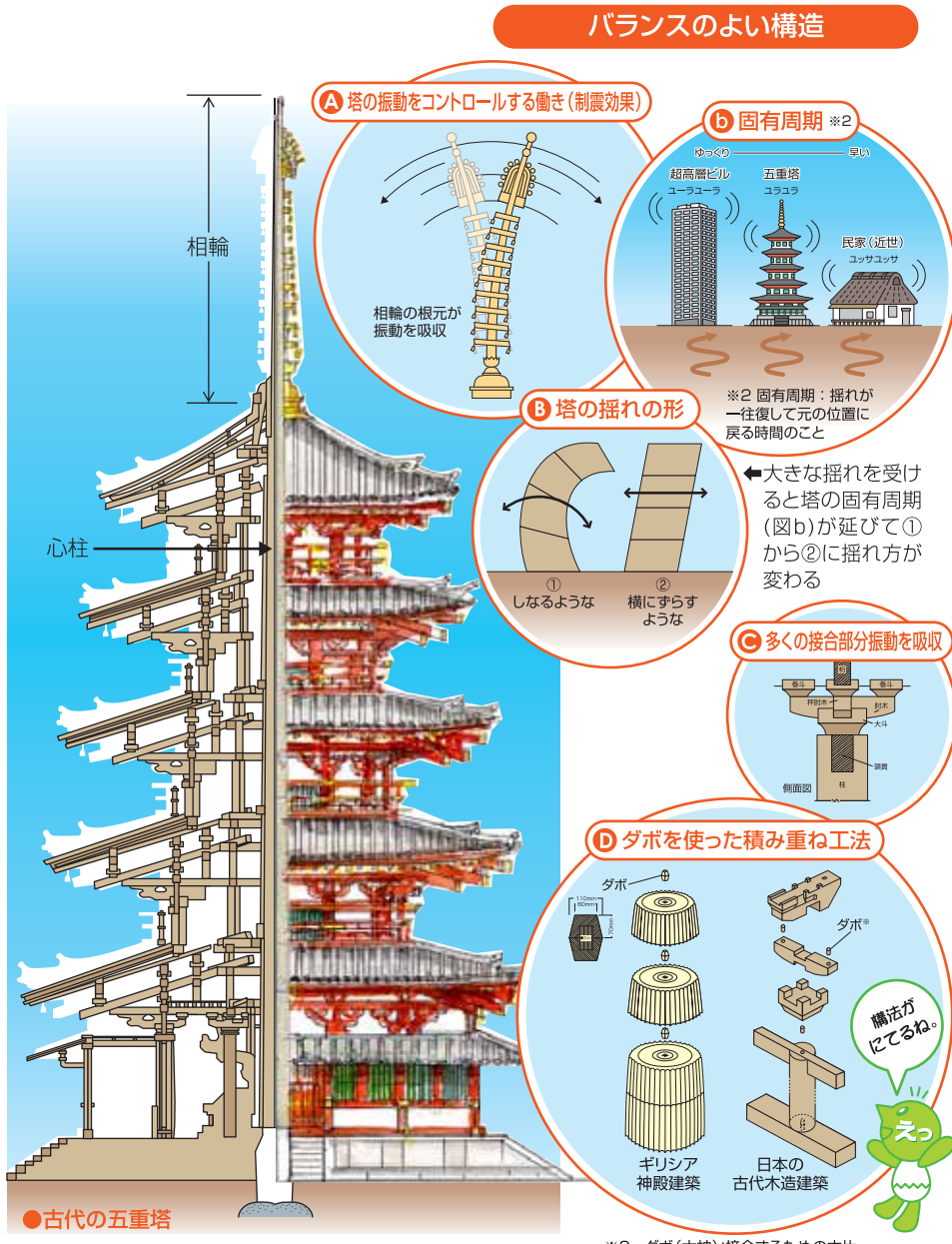
法隆寺五重塔やパルテノン神殿のように、長い歴史のなかで地震に耐えてきた建築物には、優れた耐震性と構造修復の歴史があり、修復工事は、耐震性の維持・向上に寄与したと考えられます。そもそも、五重塔の研究目的は文化遺産の保存修復にあります。科学の目とともに、修復の歴史の理解も重要(不可欠)です。

◎拠点を三重に

三重大学に着任したのは2年ほど前、それまでは、建設会社で文化財建築物の保存修理に伴う構造調査や修復設計も担当していました。

三重県とその周辺地域は多くの文化遺産に恵まれています。現在、修復中の高田本山専修寺御影堂(写真⑥)の震動調査も秋に行う予定です。一般には、文化財建造物は地震や台風に対して脆弱です。地域の貴重な文化遺産を災害から守る活動を進めていきたいと思っています。

◀9頁写真／重要文化財：①・②・⑤・⑥、世界遺産・重要文化財：③、世界遺産・国宝：④




最近の活動 世界遺産を震災から守る

文化遺産の国際協力活動に力を注いでいます。その主な活動は、


2006年ジャワ島中部地震で被災した世界遺産:ブランバサン寺院群の修復計画

日本政府の調査団として調査を続けています。現地の大学と協力して地震観測を行う計画です。



2003年イラン・バム地震で被災した世界遺産中世歴史都市アルゲロバムの修復計画

イコモス(国際記念物遺跡会議)の活動として、現地の修復事務所や大学と共同で調査をしています。大規模な土の建築群です。



●古代の五重塔

※3 ダボ(太榑): 接合するための木片

法医学で死因の解明に力を注ぐ

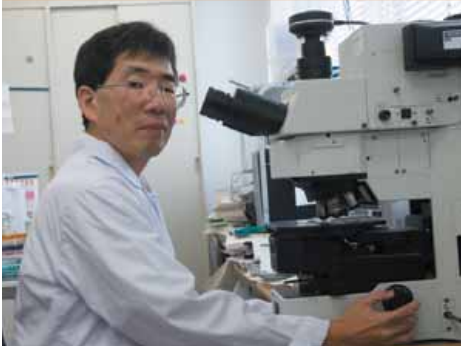
地域を支える医師たち

特集
地域に
根ざって



三重大学大学院医学系研究科・教授
Nata, Masayuki 那谷 雅之
[URL] http://www.medic.mie-u.ac.jp/forens_med_sci/

ニュースや新聞記事で「〇×署で詳しい死因を調べている」、「司法解剖を行って死因を調べる」といったことを聞いたり、読んだりしたことがあるのでは…



▲那谷教授

◎司法解剖とは？

司法解剖は、法医学解剖の3つの分類の中の一つで、犯罪に巻き込まれた方、その可能性がある方、身元がわからない方、死亡の原因が全くわからない方などについて、検察官、警察官、海上保安官などが必要と判断した場合に裁判官の許可を得て行われる解剖です(表1)。

◎どこで、誰が行っているの？

司法解剖は、全国各地の大学医学部、医科大学の医師が行っています。なお、三重県内の司法解剖は、全て三重大学で行われています(三重大学では「法医学科学分野」という名称です)※。

※複数の法医学教室を擁する地域では、曜日毎の当番制や警察署単位で担当大学を決めるケースも。

◎どんなことを調べるの？

交通事故、火災、転倒・転落、暴力、薬毒物といった外力作用と死亡の関係を調べます。解剖の結果、病気で死亡したということが判明することもあります。また、傷があれば、その傷がどのようにできたかを検討します。

死亡推定時刻も重要ですが、実際には細かな特定は難しく、ドラマや映画のように「午後3時30分～4時の間」といったような訳にはいきません(ドラマのように、法医学の医師が「捜査」を行うことは絶対にありません)。

身元が判らない場合に、骨や歯の特徴から年齢を推定する、あるいは白骨から性別を調べることもあります。歯の治療痕やDNA鑑定によって身元が判明することも少なくありません。

◎法医学が貢献できること

私たちの研究室では、社会に対して貢献できることを目標として、死者の人権を守るべく死因判断や個人識別を正確に行うための手法・技術の研究・開発を行っています。

現在は、社会問題となっている熱中症や薬物乱用の人体・各臓器への影響を、動物を用いて分子生物学的に解析しています。これらの研究から得られた新しい知識・情報を、生きている人々の健康に役立てることができたらと考えています。

◎三重県では

昨年は108体、今年は57体(8月下旬現在)の司法解剖が行われました(その全てが、三重大学で行われました)。

全国的に医師が不足していますが、法医学の世界も例外ではありません。全国で司法解剖を担当している医師数は150名程ではないでしょうか。少ない人数で「地域と共に」歩んでいるのは臨床医だけではないことを知っていただければと思います。

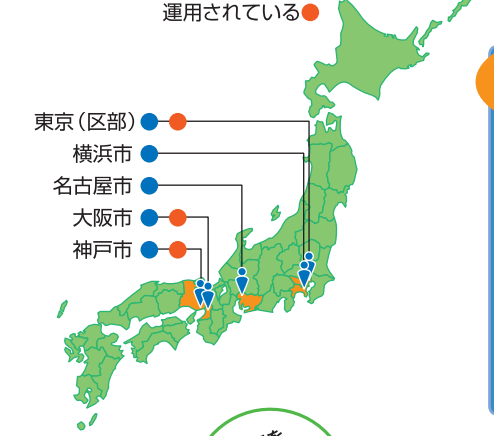


表1 解剖の種類

【遺族の承諾要 ○】

- 系統解剖** 医学部の学生が人体の構造を学ぶため、ご献体いただいた遺体を解剖する
- 病理解剖** 病気で亡くなられた方の病因等を詳しく調べ、今後の医学・医療の発展に役立てる
- 法医学解剖**
 - 司法解剖** 検察官、警察官等が必要と判断した場合、裁判官の許可を得て行う解剖
 - 承諾解剖** 遺族の承諾を受け、死因を詳しく調べるために行う解剖
 - 行政解剖** 死体解剖保存法に基づいて行われる解剖

図1 監察医制度がある地域



調べる事 07-57

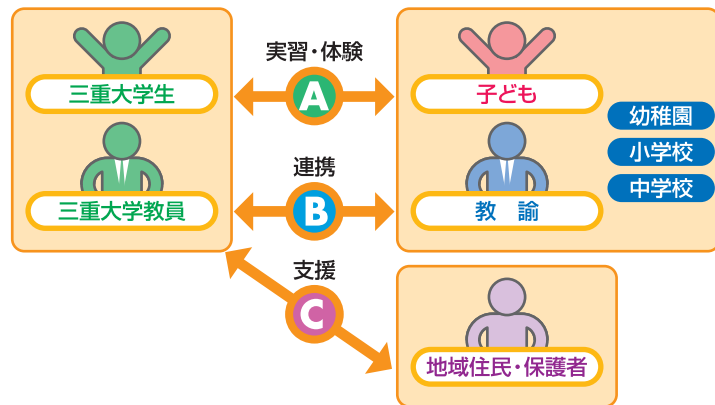
- 死因
- 創傷
- 血液型
- 性別
- 年齢等



教育実践力と地域文化力の育成

今日の社会において、教員には専門的な能力に加え、高い倫理性や優れた人間性など多様な資質能力が求められています。

教員養成を主目的とする三重大が地域の学校と連携することによる、学生が育ち、地域を育てる取組が、文部科学省「平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択されました。



A 新科目を開講し、学生への実地的な教育を展開

大学の新しいカリキュラム

1年次より、小中学校等でアシスタントとして授業に参加し、教育実践力の基礎を身につける(教育実地研究)。

- 1年次：教育実地研究基礎
- 2年次：教育現場の体験
- 3年次：4週間教育実習
- 4年次：2週間教育実習／教育実地研究

子ども達と同じ目線と立場で体験し、物事を「見る」事を学びます。



学生が中心となって開発

保健体育科、障害児教育の学生が中心となって開発した「親子活動プログラム」。

親子で丼(ドーン)

【栗真小学校3年生と保護者と】

- 音楽にあわせながら体を動かす
- 子どもも保護者も、みんな一緒になって「親子丼」を作り上げていく
- 親子丼の調理過程を「体ほくしの運動(ペアコミュニケーション、円形コミュニケーション、リズムダンスなど)」の内容で構成

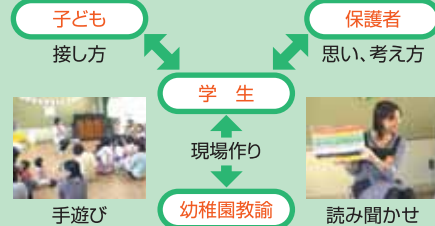


子育て支援のボランティアと一緒に

0～3歳児の子どもとの関わりから学ぶ。

ピョンちゃんクラブ

【未就園児と保護者と】



【URL】 <http://chiiki.gp.edu.mie-u.ac.jp/>

社会が求める教員養成と、地域の教育力を向上させるモデルづくりをめざします。

上垣 渉
(教育学部・教授)

B 大学教員と中学校教諭が連携して

教育学部教員と一身田中学校教諭の「指導案」による「公開授業」。

公開授業

【数学科、英語科、理科、保健体育科】



エッ！
マツチの擦り方が
わからない？
どうやって教えたら
いいのかなあ

真剣に
メモを取る
学生達



中学校の文化祭と大学がジョイント

三重大学講堂で、一身田中学校文化祭の合唱コンクールと、三重大学学生による合唱とのジョイントコンサートを実施。

ジョイントコンサート



▲一身田中学生によるクラス対抗合唱コンクール



▲三重大学音楽科学生による合唱

中学生の声

とてもいい
思い出に
なった。

三重大の
大ホールで
できて、うれし
かった。

三重大音楽科
の人の「声」は、
とてもきれいで
よかった。

大学と中学が連携して

三重大で開催している「青少年のための科学の祭典」三重大大会に、一身田中学校2年生が実験ブースを出展。

ジュニアサイエンススクール



▲スライムをつくらう

中学生が、
小学生に「教える」ことを
体験しました。

C 地域教育力の向上

三重大学教員による福祉・健康問題、食問題などを中心とした講座を開講。年齢も職業も問いません。地域のための「地域立学校」です。

カルチャースクール

有意義な
講座
だった。

本当に
聞いて
よかった。

参加者の声

わかり
やすく楽し
かった。

今後も
ぜひ、続けて
ほしい。

【第1期】(2006.9)

- 藤堂高虎の藩(くに)づくり
- 健康的な生活を送るためのちょっといい話
- 食を見通して、生活を豊かにしよう

【第2期】(2006.11)

- 最近よく聞くメタボリックシンドロームって?
- どうなるの?日本経済
- ちょっと驚き、暦(こよみ)の不思議

【第3期】(2007.6)

- 守ろう! あなたの財産
- どうなるの?年金制度
- どうなる? 一身田に大地震

- 【第4期】(2007.10~)
- あなたの「子育て」応援します!(10/5)
- 「介護」の悩みはこうして解消(10/19)
- どう考えたらいいの?環境問題(11/2)

開催します!

場所：高田青少年会館
時間：19:30~21:00

取組の成果の公表

「教育実践力の育成と学校・地域の活性化」の報告会。

フォーラムin一身田 (2007.2)

- 平成18年度の取組の報告
- パネルディスカッション「中大連携の取組と教員養成の課題」
- 講演「教員養成学部と学校・地域の連携はどうあるべきか?」



明日を担う中核技術者の育成を目指して

平成19年度
受講生募集中

申込・お問い合わせは
じばさん三重へ。

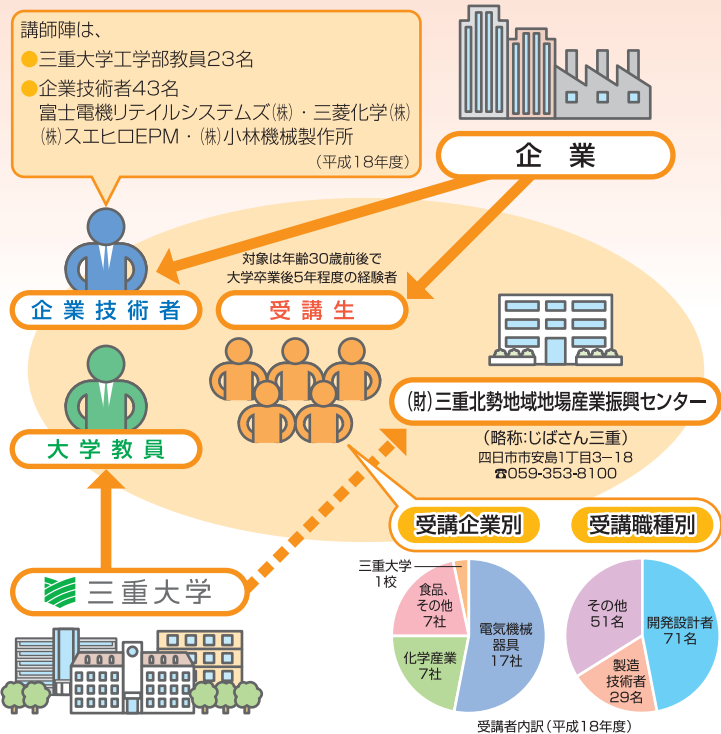
団塊世代の大量退職や、小児化の影響などによる技術者不足が危惧されるなか、特に製造現場では中核的役割を果たす人材が求められ、その育成が大きな課題となっています。

三重大学では、経済産業省の支援を受けて地域企業、三重県らと協働で平成17年度より「製造中核人材育成プログラム実証講座」を実施しています。

育てるπ型人間

幅広い視野と知識を持つ人材の育成

- 機能に関する幅広い専門技術を持つ。
- 環境・品質・コスト・生産管理について専門的知識を持つ。



実践的なプログラムとは?

5つのコース と 6つの科目 から選択します。



習得したい技術・知識により、コース・科目を選びます。
(詳細は、<http://jibasanmie.or.jp/home/O1/O11/O113/>)

どんな講義?

実践的な教育プログラム

失敗事例から学ぶ

- 1 ケーススタディ
① 講師(企業技術者9名)から、過去に発生した失敗事例を説明
② グループに分かれ、原因・解決策について討議
- 2 講義(基礎・応用)
主に三重大学の教員による講義
- 3 実習
解決策の効果を体験

何が得られる?

失敗から学ぶことにより、さらに考えを深めていく。そして、問題の本質を解く思考プロセスを身につけることができる。



受講者や企業の声

- 受講者
 - ◎ 他の業種の人たちと交流することで、今までとは違うものの考え方に出会うことができ、大きな収穫が得られた。
 - ◎ 企業で実際に起こった失敗事例をもとに、工学の基礎に立ち返った講義で、興味深く理解しやすかった。
- 受講者の派遣元企業
 - ◎ 本人の意識改革が見受けられる。
 - ◎ “ものづくり”に必要な総合的な教育の機会である。

社会人が、受講しやすいように時間の短縮や土曜に開講するなど配慮しています。また、受講生が企業で求められる成果を出せるように、社会のニーズにマッチした講座を目指して、今後も継続していきたいと考えています。

平井 憲章
(三重大学・産学連携コーディネーター)

専門的学問領域

- 1 電気・電子工学
原理原則に立ち戻った基礎講義により、基礎技術と技術ノウハウを習得します。
- 2 機械工学

自職にお金を入れたのに品物が出てこない! ①なぜ、失敗事例が発生したのか? 原因究明と解決策を見出し、実際に改善策を体験します。

②不具合のメカニズム解明

商品搬送バケツ 市場で破損した歯車 破損部拡大

エコデザイン

3R (リデュース) (リユース) (リサイクル)

エコに対する技術の習得

環境配慮工学

環境対策の実情を踏まえ、法規や技術を学びます。

エコデザイン

3R (リデュース) (リユース) (リサイクル)

エコに対する技術の習得

実践品質管理工学

品質管理手法を習得し、問題発生予知能力を身につけます。

新機種の開発

失敗はつきもの

トラブルを未然に防ぐ

品質トラブルのない商品を市場へ

成功は99%の失敗に支えられた1%だ (本田技研工業(株)創業者 本田宗一郎氏)

コストダウン技術

コストダウンに向けて常日頃から現場を見る重要性を学びます。

購買

設計

コスト発生要因

物流

製造

コスト低減の第一歩はかかっているコストを知ること

生産管理工学

市場ニーズに対して、マネジメント出来る能力を習得します。

生産の効率化

生産の平準化

生産上のムダをなくす

企業経営と顧客満足の両立

市場ニーズに対してスピーディに対応!

三重大産の酒米を使った日本酒が金賞受賞!

附帯施設農場で品種改良された県産の酒米「伊勢錦」を使って、元坂酒造(三重県多気郡)が醸造した大吟醸酒「酒屋八兵衛」が、全国新酒鑑評会で金賞を受賞しました。

松葉農場長 元坂社長

チャイルドライフスペシャリスト講演
三重県立津西高等学校で授業を行いました

附属病院小児科で、入院中の子どもの心をケアする「チャイルドライフスペシャリスト」(CLS)として活躍中の世古口さやかさんが、母校を訪れ授業を行いました。卒業生から職業観を学ぶ特別授業「ようこそ先輩」に講師として招かれた世古口さんは、CLSの仕事内容とやりがい、「高校時代になすべきこと」などについて話しました。

学長と学生と津市長との懇談会

これまで開催してきた学長と学生との懇談会に、今回初めて松田直久津市長をお迎えし、「津市観光の活性化」や「地域に根ざした三重大学」の在り方などについて、活発な意見交換が行われました。

松田津市長

モノ作り・人作り 地域フォーラムin三重

(主催) (独)中小企業基盤整備機構、伊勢新聞社、全国地方新聞社連合会

大学院工学研究科2年の大内由祐さんがパネリストとして参加。明日を担う若者の代表として、地元経営者や専門家と明日のモノ作りの夢などについて意見を交わしました。

国際シンポジウム「四日市学」

第1部は、人文学部の朴教授による四日市公害の過去・現在・未来についての発表で、第2部は、四日市喘息患者、企業、三重県の担当者らが四日市公害の教訓を今後どう活かすかについて語り合いました。地域住民、学生、企業、行政など約300名が参加しました。

「Legal Medicine 優秀論文賞」を受賞!!
第91次日本法医学会総会において

覚醒剤に関わる死亡事例では、血中覚醒剤濃度を指標として死因を診断しています。これまでも血中覚醒剤濃度を「中毒量」「致死量」等と分類した診断基準がありましたが、実際には「致死量」以下の血中濃度でも死亡する事例が多いことを論文にまとめ、発表しました。今後、この論文が覚醒剤関連死の診断基準の一つとなることが期待されます。

井上裕匡講師 (大学院医学系研究科・法医学科学)

三重テレビ「マンスリー eye」出演!!

地域医療の課題と対策について対談されました。

(レギュラー出演者) (左から)フリーアナウンサー 稲葉寿美氏 津観音院家 岩鶴密雄氏 (ゲストコメンテーター) (右端) 豊田学長

学長がコメンテーターとして

えっくすくん information 気になる NEWS

エコバッグのデザイン決定!

応募数120件の中から、生物資源学部3年の小出恵里さんのデザインが最優秀賞に選ばれました。採用されたデザインに基づきエコバッグを作成、レジ袋削減に賛同する学生や教職員に10月ごろ配布されます。

みえ アカデミック セミナー2007
「ココロほのめかす"あなた"とは」

三重県生涯学習センターにおいて、社会学(石坂規准教授・人文学部)と心理学(中西良文准教授・教育学部)の分野から、「恋愛」をテーマに公開講座を行いました。参加者は熱心に耳を傾け、講演後のディスカッションでも様々な質問や意見が寄せられていました。

石坂准教授 中西准教授

附属病院 小児科病棟夏祭り

附属病院では、入院中の子どもたちに「夏」を楽しんでもらおうと、ボランティアを中心に「夏祭り」を開催しました。1階外来ロビーで、スタッフ手作りの綿菓子・ヨーヨーつりなど10種類の出し物を設けたり、輪投げなどのゲームを行ったところ、子どもたちは大喜びでした。

附属中学校 音楽部天津訪問

昨年度、附属中学校と天津師範大学附属中学校は姉妹校提携を交わしました。このたび、全国大会等で優秀な成績を収めている附属中学校音楽部員(2・3年生)34名と11名の教員が、天津師範大学附属中学校を訪問し、音楽や舞踊を通して国際交流を深めました。

熊野在住作家 講演会

人文学部の伊勢湾・熊野地域研究センターと東紀州再生プロジェクトとの共催で、熊野在住の作家・中田重顕氏の講演会が開催されました。中田氏は「大逆事件紀州組と南紀新しき村〜日本の夜明けを目指した熊野の人たち〜」と題して、大逆事件で不当な弾圧を受け、それにもくじけずに「新しき村」造りに立ち上がった熊野の人々の姿を熱く語られました。

第5回 日本環境経営大賞

「第5回日本環境経営大賞」の環境連携賞に、(株)尾鍋組、三重大学関連NPO法人地域開発研究機構、(株)百五銀行らが連携する「自然砕石を活用した地盤改良の普及事業」が受賞しました。三重大学と(株)尾鍋組との共同研究から生まれたビジネス連携モデルです。

みえメディカル 研究会総会

特別講演「開発者からみた医療システムを取り巻く実態」(株)サーガ 高橋和良代表取締役)と講演「高齢者における医療での産学連携」(内田淳正附属病院院長)に、参加した90名は熱心に耳を傾けていました。

高橋氏



INFORMATION*SPOT*
湯の山温泉

自然と歴史と温泉がある、癒しの町。
今回は、紅葉シーズンにオススメのスポット「湯の山温泉」(三重郡菟野町)をご紹介します。

気分爽快!御在所岳

標高1,212m、四季折々に美しく変化する御在所岳。大自然に包まれた一帯は、コブシやツツジ、ミズバショウなど植物の宝庫です。

御在所岳の紅葉は、10月中旬より3段階(上・中・下)に分かれて紅葉します。色づいた木々が織りなす錦絵は、とてもきれい!

山頂へは、御在所ロープウェイで約12分。このロープウェイは全長2,200mと世界有数の規模を誇り、鉄塔の高さは61mと日本一!

直下150mの本谷を渡ると、眼下に広がる壮大な緑に圧倒され、スリル満点でした。

僧兵と恋結びの寺・三岳寺

807年に創建された天台宗の寺。1568年、織田信長の伊勢進攻による焼き討ちの際、武装した僧(僧兵)たちが勇敢に戦いました。

それから長い年月が経ち、結ばれぬ恋に悲観した男女が蒼蒼に身を投げようとしたところ、一人の僧兵に助けられます。翌朝、二人はお礼にと三岳寺に折鶴を奉納すると、その折鶴は飛び立っていきました。数年後、幸せになった二人が再び三岳寺を訪ね、住職にあの僧兵のこ

とを話すと「もう数十年も前から僧兵はいない」とのこと…。

今でも、永遠の愛を願う恋人たちが三岳寺を訪れ、折鶴を奉納しています。



▲三岳寺



▲僧兵まつり

10月6日、7日に、僧兵の勇気・忍耐・正義感を今に伝える「僧兵まつり」を開催します。夜、僧兵姿の男衆が、大きな樽みこしに船明を50本ほどつけた「火炎みこし」を担ぎ、温泉街を練り歩きます。とても勇ましくて幻想的なお祭りなので、ぜひ目に来てください!(湯の山温泉協会・野口さん)



春は新緑、夏は涼、秋は紅葉、冬は雪景色…と、4つの顔を持つ湯の山温泉。美しい景色と温泉で、心の中から癒されます。湯の山温泉に、ぜひ季節ごとにお越しください!(女将の会「きらら」副会長・伊藤さん)



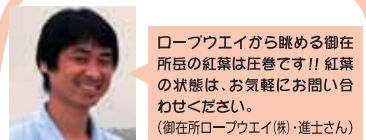
温泉は無色透明のアルカリ性ラジウム泉。胃腸病、神経痛、外傷に効果的。特に、美肌の特効薬「美人の湯」として評判なんだよ!

効きそうだね!

僧兵くん&カト兵くん

湯の山観光のことなら!

お問い合わせ先
湯の山温泉協会
〒510-1233 三重県三重郡菟野町湯野8522
TEL.059-392-2115 FAX.059-392-2117
[URL] http://www.yunoyama-onsen.com/



ロープウェイから眺める御在所岳の紅葉は圧巻です!! 紅葉の状態は、お気軽にお問い合わせください。(御在所ロープウェイ(株)・進士さん)

お問い合わせ先
御在所ロープウェイ(株)
〒510-1233 三重県三重郡菟野町湯の山温泉
TEL.059-392-2261 FAX.059-392-2526
[URL] http://www.gozaisho.co.jp/
▲売店で大人気の「日本初 Gondola型 チョロQ」

湯の山観光のことなら!

お問い合わせ先
湯の山温泉協会
〒510-1233 三重県三重郡菟野町湯野8522
TEL.059-392-2115 FAX.059-392-2117
[URL] http://www.yunoyama-onsen.com/

三重大学映画サークル「みえ・シネマアーカイブ」

代表 山下 茜
(三重大学人文学部文化学科 3年)
【HP】http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Cinema/1163/

通称シネカブ

「シネカブって何?シネ株?」とよく聞かれます。確かに知名度は低いし、普段はしょうもない事をしゃべってます。が、それは仮の姿。実は、三重映画フェスティバルのイベント企画をしたり、映画製作をしたりと、結構大きな事をしています。昨年のはあの「嵐」と映画出演も果たしました!(もちろんエキストラで(^_^;))

三重映画フェスティバルとは、毎年秋(今年は9月15・16日)に開催される映画の祭典のことで、私たちが企画運営するイベントもそこで行われます。

最高の出会いと体験を

シネカブは、大学では決して出会うことのできない方々と交流できたり、企画運営や映画作りというクリエイティブな活動を通して仲間と達成感が味わえる、最高のサークルです!

まずは月・金の昼休み、120番教室前ロビーで一緒におしゃべりしませんか?



ぼくたちの三重大学ラグビー部は、今年80周年を迎えた伝統あるクラブです。入部してくる部員は初心者が多いのですが、とても熱く、集中力もバッチリ!

「東海リーグ一部昇格」を目指して

9月16日から、東海リーグ一部昇格のための二部リーグ戦が始まります。一部に昇格するために暑さにも負けず、頑張っています。

チーム全員が一つになる

ラグビーは、体と体がぶつかりあい、ボールをトライするまでの体力と技術と頭脳のプレー。でも、何よりも大切なことは、団結力です。

自分たちで頑張って、流れる汗とともに勝ち取った「勝利」を味わった時の幸福感は、きっと一生の宝物になるでしょう。

ちょっとでも興味を持たれた君!ぜひ、見に来てください。週4回夕方、ラグビー場で練習しています。



歴史と伝統を持つ誇り高いクラブ

三重大学ラグビー部

代表 磯村 麟平
(三重大学工学部分子素材工学科 3年)
【HP】http://mrfc.fc2web.com/

＊本の紹介



『椎名麟三とく解離』

戦後文学における実存主義者、椎名麟三。労働運動を通しての獄中体験、解離性障害との闘いの中、ドストエフスキー、キリスト教との出会い。信仰を抱くことにより作品を書き続け解離性障害を克服し、自己再生したことを明らかにした書です。

著者／尾西康充(人文学部・教授)
定価／6,952円(税別)
発行／朝文社



『四日市学講義』

四日市公害の教訓を生かす学問「四日市学」の本学での3年間の講義をまとめた本。各分野の専門家22名が、独自の視点で公害問題をわかりやすく解説した「四日市学」入門書です。

編者／朴 恵淑(人文学部・教授)
定価／2,800円(税別)
発行／風媒社



歴史文化ライブラリー237 『跋扈する怨霊』

長屋王、菅原道真、崇徳院…。非業の死を遂げ、祟りや災いを起こした怨霊は、為政者により丁寧に祀られました。虚実とりまぜて論じられがちな怨霊の創出と鎮魂の実態を、実際の史料に基づいて辿り、怨霊を時代の中に位置づけます。

著者／山田雄司(人文学部・准教授)
定価／1,700円(税別)
発行／吉川弘文館



史料纂集古文書編 『朽木家文書』第一

鎌倉時代以来、近江国朽木荘(滋賀県高島市)を本領として勢力をもった大身旗本・朽木家(9千石)に伝来する中世・近世古文書を、はじめて解説したものです。中世在地領主制や近世政治史の研究において、重要史料が多数含まれています。

著者／藤田達生(教育学部・教授)・西島太郎(2006年度本学非常勤講師)
定価／13,000円(税別)
発行／八木書店



『ギリシア数学の探訪』

古代ギリシアの人々は、オリエント地域で発達した文明を吸収しつつ、独自の極めて高度な数学文化を創造しました。本書では、古代オリエントの数学、オリエントからギリシアへの移行、古代ギリシア数学の内容を各分野にわたって探訪しています。

著者／上垣 渉(教育学部・教授)
定価／2,500円(税別)
発行／亀書房



『特別支援学校における 重度・重複障害児の教育』

特別支援学校に多く在籍する重度・重複障害児の教育に関する入門書。基礎理論を概説するとともに、著者の12年間にわたる現場での実践の省察に基づき、具体的な取り組み方について、事例に則してわかりやすく解説しています。

著者／姉崎 弘(教育学部・准教授)
定価／2,400円(税別)
発行／大学教育出版



『随筆で楽しむ 日本の魚事典 海水魚 1~4』

昭和の時代「魚博士」として親しまれた故末広恭雄氏の随筆から選りすぐった本。魚の生態の他、魚にまつわる伝説、風習などを掲載。なお追補として、魚類に関する最新の情報の提供の他、随筆中の誤りを訂正しています。

著者／末広恭雄(東京大学名誉教授)
監修・追補／木村清志(大学院生物資源学専攻 教授)
定価／2,800円(税別)
発行／河出書房新社



＊附属病院から

●安全・安心な医療の提供のために ~安全管理部~

三重大学医学部附属病院の部署の一つに、「安全管理部」があります。ここでは中央診療部門ですが、患者さんの診療に直接関わっていません。安心・安全な医療の提供をサポートするため、患者さん側でも医療者側でもない第三者的な中立の立場の部署とされています。

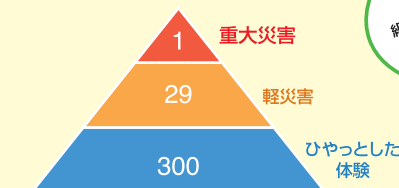
安全管理部の重要な役割「安全なシステムの提案」

「安全なシステムの提案」の手法のひとつが、ハインリッヒの法則(図参照)を応用した「ヒヤリハット報告書」です。よくマスコミで「〇〇病院、ヒヤリハットの報告は年△△件もあった」などと報道され、あたかもヒヤリハット報告書が多い病院は危険な病院と誤解されがちですが、実はまったく逆。「事故を防ぐ」安全意識が高いことを表わしているのです。

安全管理部は診療部門をサポートし、患者さん本位の安全・安心の医療の提供から医療の質にまで踏み込んだ医療安全の実現を目指しています。

★ ハインリッヒの法則 ★

産業界における労働災害では、1件の重大災害の裏には29件のかすり傷程度の軽災害があり、その裏にはケガはないがひやっとした300件の体験があるというものです。



労働災害におけるハインリッヒの法則

ヒヤリハット報告書の件数は“些細なことでも報告して、組織で事例を共有し事故を防ぐ”という職員の高安全意識のバロメーターなんだって!



＊看護師・助産師募集＊

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

三重大学医学部附属病院看護部

☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

＊附属学校園から

附属小学校

●公開研究会のご案内

◎研究主題◎ 子どもがつながることでさらに確かなる学び—探求と対話による授業の再構築を目指して—

◎開催期間◎ 平成20年2月9日(土)

◎会場◎ 三重大学教育学部附属小学校

◎参加費◎ 2,500円(学生1,500円) ◎受講対象者◎ 教職関係者及び学生

◎問い合わせ先◎ 教育学部附属小学校 / ☎059-227-1295

附属中学校

●公開研究会のご案内

◎研究主題◎ ともに学びともに高めあう学校の創造—つながりあう力がつく授業—

◎開催期間◎ 平成19年11月23日(金・祝)

◎会場◎ 三重大学教育学部附属中学校

◎受講料◎ 2,000円(学生1,000円) ◎受講対象者◎ 一般

◎問い合わせ先◎ 教育学部附属中学校 / ☎059-226-5281

●附属中学校60周年記念祝賀会

◎日時◎ 平成19年11月24日(土) 13:00~

◎会場◎ 三重大学三翠ホール

◎会費◎ 祝賀会参加費の代わりに、附属中学校図書館の充実のための募金(1口1,000円)をお願いします。

附属特別支援学校

●ご案内

附属特別支援学校では、「学校見学」「就学相談」「教育相談(教職員対象コンサルテーション)」を行っています。すべて予約制となっていますので、気軽にお問い合わせください。

◎問い合わせ先◎ 附属特別支援学校 / ☎059-226-5193

●ボランティア募集

附属特別支援学校の子ども達と、楽しい行事に参加しませんか。

活動内容/作業学習・校外学習・課題のスポーツ・教科の授業・学校祭等

◎問い合わせ先◎ 附属特別支援学校 / ☎059-226-5193(担当:斎藤)

●学校祭のご案内

子ども達が頑張って取り組んで作った作品の展示と、小・中・高等部による劇の上演や、バザーなど色々な催しを企画しています。

◎日時◎ 平成19年11月3日(土) 9:30~15:00

附属幼稚園

●平成20年度入園ご希望の方へ

入園児募集要項(願書等一式)を配布します。

◎日時◎ 平成19年9月3日~9月28日(土曜・日曜・祝日を除く) 9:30~15:00

◎募集人員◎ 3年保育/約20名・2年保育/約50名

◎願書受付◎ 10月1日~10月5日 ◎連絡先◎ 附属幼稚園 / ☎059-227-1711

●幼稚園の園庭でひとときを

「園庭開放」をしています。互いに気をつけて楽しく使しましょう。

◎日時◎ 毎週月曜日 15:00~17:00/毎週木曜日 13:00~17:00

◎ご注意◎ *受付で利用記入簿に記入してください。*トイレは管理棟、昇降口のものをお使いください。園舎には入れません。*ゴミはお持ち帰りください。*使った玩具等は必ず片づけてください。

秋の「運動会」開催

秋の運動会を開催します。みんな、一生懸命練習しました。ぜひ、子ども達の笑顔とその成果をご覧ください。

●附属小学校

◎日時◎ 平成19年9月23日(日) 雨天順延 ◎場所◎ 附属小学校運動場

●附属特別支援学校

◎日時◎ 平成19年10月20日(土) 雨天順延 ◎場所◎ 附属特別支援学校運動場

＊三重大学公開講座

全学主催公開講座

気になる「健康の秘密」を一緒に解き明かしていきましょう!

●健康の秘密

- 会場◎ 三重大学総合研究棟Ⅱ1階 メディアホール
- 受講料・定員◎ 無料・先着100名
- 問い合わせ先◎ 総務部広報チーム / ☎059-231-9789

この体操で、あなたも元気になれる!?

●「体操」の秘密

- 講師◎ 後藤洋子(教育学部教授)
- 日時◎ 平成19年9月28日(金) 18:30~20:00

体にいい機能を持つ海藻とは?

●「海藻」の秘密

- 講師◎ 荒木利芳(大学院生物資源学研究科教授)
- 日時◎ 平成19年10月5日(金) 18:30~20:00

体がさびるのを防ぐゴマの秘密

●「ゴマ」の秘密

- 講師◎ 勝崎裕隆(大学院生物資源学研究科准教授)
- 日時◎ 平成19年10月12日(金) 18:30~20:00

えっ!こんな健康法があったの?

●「異文化・健康」の秘密

- 講師◎ 石井眞夫(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年10月19日(金) 18:30~20:00

体にとっていい「食」とは?

●「食」の秘密

- 講師◎ 成田美代(名誉教授)
- 日時◎ 平成19年10月26日(金) 18:30~20:00

学部主催公開講座

●人文学部「公開ゼミ2007」

- 会場◎ 三重大学人文学部他
- 受講料・定員◎ 無料・各20名
- 問い合わせ先◎ 人文学部チーム総務担当 / ☎059-231-9195, 9196

●万葉—高市黒人の歌

- 講師◎ 廣岡義隆(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年9月6日(木)、13日(木)、20日(木) 13:00~14:30

●英語楽入門(えーごがくにゅうもん)

- 講師◎ 杉崎弘司(人文学部准教授)
- 日時◎ 平成19年9月6日(木)、13日(木)、20日(木) 19:00~20:30

●やさしいドイツ語会話(全5回)

- 講師◎ 太田伸広(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年10月2日(火)、9日(火)、16日(火)、23日(火)、30日(火) 14:40~16:10

●読み解こう!「改革」のながれ—「改革」で何が変わり、何が変わらないのか?—

- 講師◎ 寺川史朗(人文学部准教授)・岩崎恭彦(同准教授)・伊藤 陸(同准教授)
- 日時◎ 平成19年10月16日(火)、23日(火)、30日(火) 13:00~14:30

●女性と政治—知られていない仕組み

- 講師◎ 若本美砂子(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年10月16日(火)、23日(火)、30日(火) 19:00~20:30

●企業の社会的責任を考える—労働と環境への対応—

- 講師◎ 橋場俊展(人文学部准教授)・森 久綱(同准教授)・青木雅生(同准教授)
- 日時◎ 平成19年10月17日(水)、24日(水)、31日(水) 19:00~20:30

●家族と子供を考える

- 講師◎ 石井眞夫(人文学部教授)・村上直樹(同教授)・立川陽仁(同准教授)
- 日時◎ 平成19年11月6日(火)、13日(火)、20日(火) 19:00~20:30

●現代ドイツのポップ文学を原文で読む

- 講師◎ 大河内朋子(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年11月10日(土)、24日(土)、12月8日(土) 10:30~12:00

●今、金融の役割を考える—銀行・証券・保険—

- 講師◎ 野崎哲哉(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年11月13日(火)、20日(火)、27日(火) 14:40~16:10

●奈良の古寺美術—東大寺の秘仏を訪ねて—

- 講師◎ 藤田伸也(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年12月15日(土) 13:30~15:00、16日(日) 13:00~ 奈良駅集合で見学

●医学部「公開講座」

- 日時◎ 平成19年10月6日(土) 13:00~16:40
- 会場◎ 三重大学医学部看護学科棟3階第一講義室
- 受講料・定員◎ 無料・100名
- 問い合わせ先◎ 医学部・医学系研究科チーム総務担当 / ☎059-231-5428

●メタボリックシンドロームとは?—内臓脂肪の恐ろしさ—

- 講師◎ 住田安弘(医学部附属病院講師)

●“うつ病”と“うつ病ではないうつ状態”

- 講師◎ 岡田元宏(大学院医学系研究科教授)

●環境と健康：身近な化学物質を考える

- 講師◎ 村田真理子(大学院医学系研究科教授)

●生物資源学部「公開講座」

- 会場◎ 三重大学生物資源学部1階大会議室、研究実験室、応接室
- 受講料・定員◎ 2,000円(受講ファイル、資料印刷費、その他実費相当)・30名(先着順)
- 持ち物◎ 筆記用具
- 問い合わせ先◎ 生物資源学部・生物資源学研究科チーム / ☎059-231-9627

●自然も病気にかかる—花、魚、海、そして人—その回復や予防のために—

- 觀賞魚や養殖魚の病気とその予防 ●海の病気「赤潮」発生の現状とその対策
- 【観察】魚病標本や赤潮プランクトンの観察
- 講師◎ 宮崎照雄(大学院生物資源学研究科教授)・石川 輝(同准教授)
- 日時◎ 平成19年10月6日(土) 13:00~16:30

●植物の病気とその予防 ●磯の病気の現状とその対策

- 【観察】走査電子顕微鏡による植物の病原体の観察と海藻の顕微鏡観察
- 講師◎ 中島千晴(大学院生物資源学研究科准教授)・倉島 彰(同助教)
- 日時◎ 平成19年10月13日(土) 13:00~16:30

●ストレスは万病の元—ストレス解消による健康増進・疾病予防法—

- 【体験実習】あなたのストレス度を測定する
- 講師◎ 田口 寛(大学院生物資源学研究科教授)
- 日時◎ 平成19年10月20日(土) 13:00~16:30

●附属施設農場「公開講座」

- 会場◎ 三重大学大学院生物資源学研究科 附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター 附属施設農場(津市高野尾町2072-2)
- 受講料・定員◎ 無料・30名(応募者多数の場合抽選)
- 対象◎ 一般市民(高校生以上)
- その他◎ 当日農産物等の直販も計画しています。
- 注意事項◎ 初日は日本酒の試飲を行いますので、お酒を飲まれる方は公共交通機関をご利用ください(三交バス最寄り停留所:新出)。未成年の方の飲酒は禁止します。
- 問い合わせ先◎ 附属教育施設チーム / ☎059-230-0044

●食への関心を高める

- 日時◎ 平成19年11月24日(土) 10:00~15:00(昼食はご持参ください)
- 米と日本酒(麴の力、日本酒の試飲)
- 講師◎ 松葉捷也(大学院生物資源学研究科教授・附属施設農場長)
- 麴作り(甘酒造り)
- 講師◎ 三島 隆(大学院生物資源学研究科助教)
- 日時◎ 平成19年12月1日(土) 10:00~15:00(昼食はご持参ください)
- 味覚の不思議(味覚修飾物質)体験
- 講師◎ 奥田 均(大学院生物資源学研究科准教授・附属施設農場次長)
- 甘酒の試飲
- みかんの瓶詰め
- 講師◎ 三島 隆(大学院生物資源学研究科助教)

公開講座・シンポジウムなど(小中学生対象)

「理科」の楽しさを体験してみませんか?

●青少年のための科学の祭典 三重大学大会

- 開催期間◎ 平成19年12月1日(土)、2日(日)
- 受講対象者◎ 幼稚園~小学生
- 問い合わせ先◎ 教育学部理科教育(後藤) / ☎059-231-9260

●わくわくコミュニケーションクラブ

- 平成19年度秋クラス(全5回)
- 受講対象者◎ 小学校3~5年生
- 問い合わせ先◎ 教育学部学校教育(中西良文) / ☎059-231-9328

公開講座・シンポジウムなど

●文化講演会 ?「発見塾」三重大学シリーズ

- 問い合わせ先◎ 津文化協会事務局 / ☎059-228-8393

●第3回【今日から変えようメタボリックな食生活】

- 講師◎ 岩田加壽子(附属病院栄養指導管理室長)
- 日時◎ 平成19年9月29日(土) 13:30~ ○会場◎ 河芸中央公民館2階会議室

●第4回【明日に向かって「まちづくり」~商店街に活気を取り戻そう!~】

- 講師◎ 豊福裕二(人文学部准教授)
- 日時◎ 平成19年11月17日(土) 13:30~ ○会場◎ 津図書館視聴覚室

●第5回【「森とメルヘンの国ドイツ」とっておきの名作劇場】

- 講師◎ 友永輝比古(名誉教授)
- 日時◎ 平成20年1月26日(土) 13:30~ ○会場◎ 白山総合文化センター 多目的室

●第6回【津藩誕生400周年記念 藤堂高虎ってどんな人?】

- 講師◎ 藤田達生(教育学部教授)
- 日時◎ 平成20年3月22日(土) 13:30~ ○会場◎ 津図書館視聴覚室

●三重大学文化フォーラム

- 詳しくは◎ <http://www.crc.mie-u.ac.jp/japanese/jinbun/schedule.html>
- 問い合わせ先◎ 三重大学文化フォーラム事務局 / ☎059-231-9763

●三重大学・志摩市文化フォーラム 2007

- 会場◎ 阿児ライブラリー アートホール
- 第4回【子どもたちの心を育てよう—描画・創作活動によるカウンセリング—】
- 講師◎ 岡田珠江(教育学部附属教育実践総合センター准教授)
- 日時◎ 平成19年10月3日(水) 19:00~21:00

第5回【となりの外来種・となりの絶滅危惧種—貝からみえる環境問題—】

- 講師◎ 木村妙子(大学院生物資源学研究科准教授)
- 日時◎ 平成19年10月17日(水) 19:00~21:00

第6回【まちづくりのとびらをひらく「協働型まちづくり」の実践】

- 講師◎ 浅野 聡(大学院工学研究科准教授)
- 日時◎ 平成19年10月31日(水) 19:00~21:00

●三重大学・皇學館大学 伊賀市文化フォーラム 2007

第5回【メタボリックシンドロームと生活習慣】

- 講師◎ 櫻井しのぶ(大学院医学系研究科教授)
- 日時◎ 平成19年12年3日(月) 19:00~20:30
- 会場◎ 伊賀市ゆめぼりセンター

第6回【高齢期の健康について—介護予防に焦点をあてて—】

- 講師◎ 松田美智子(皇學館大学社会福祉学部准教授)
- 日時◎ 平成20年1年22日(火) 13:30~15:00
- 会場◎ 伊賀市中央公民館

●三重大学・朝日町文化フォーラム 2007

- 会場◎ 朝日町保健福祉センター

第4回【「なぜ、学校へ行き学ぶのか」に答えられるか】

- 講師◎ 岡野 昇(教育学部准教授)
- 日時◎ 平成19年9月21日(金) 10:00~12:00

第5回【女性の政治参加を世界中で工夫しています】

- 講師◎ 若本美砂子(人文学部教授)
- 日時◎ 平成19年10月21日(日) 10:00~12:00

第6回【心の病と対処法】

- 講師◎ 伊藤雅之(医学部附属病院助教)
- 日時◎ 平成19年11月16日(金) 14:00~16:00

●音楽療法講演会

- 日時◎ 平成19年9月30日(日) 13:30~17:00
- 会場◎ 三重大学総合研究棟Ⅱ1階 メディアホール
- 参加費◎ MTネットワーク三重会員1,000円/一般2,000円
- 懇親会費◎ 500円
- 問い合わせ先◎ 教育学部音楽教育(根津) / ☎059-231-9268

●第4期一身田校区カルチャースクール

- 問い合わせ先◎ 津市立一身田中学校 / ☎059-232-2157・教育学部 / ☎059-231-9347
- 会場◎ 高田青少年会館

●第1回【あなたの「子育て」応援します!】

- 日時◎ 平成19年10月5日(金) 19:30~21:00

●第2回【「介護」の悩みはこうして解消】

- 日時◎ 平成19年10月19日(金) 19:30~21:00

●第3回【どう考えたらいいの? 環境問題】

- 日時◎ 平成19年11月2日(金) 19:30~21:00

●レクチャーコンサート

- オペラ400年の歴史をたどる~彩り豊かなオペラの花園から香り高い名歌を掴む~
- 日時◎ 平成19年10月6日(土) 14:00~
- 会場◎ 三重大学三翠ホール(小ホール)
- 受講料・定員◎ 無料・200名(先着順) ○受講対象者◎ 一般
- 問い合わせ先◎ 附属図書館 総務担当 / ☎059-231-9083
- ※要予約。上記問い合わせ先までご連絡ください。
- <http://www.lib.mie-u.ac.jp/exhibition/opera/>

●特色ある大学教育支援プログラム採択記念フォーラム

- 国際臨床教育フォーラム~地域から世界へ、世界から地域へ~
- 日時◎ 平成19年10月20日(土) 9:00~16:00
- 会場◎ 三重県医師会会館大ホール
- 受講料◎ 無料 ○受講対象者◎ 一般(※使用言語は英語です)
- 問い合わせ先◎ 医学部・医学系研究科チーム学務グループ / ☎059-231-5063

柳原の手引観音と滝原宮



石柱 ▲
柳原観音千福寺 ▶



▼滝原宮 社殿

田丸を出発して熊野街道を進み、原の石仏庵を過ぎて最初の峠である女鬼峠を越えると、宮川の清らかな流れが見えてきます。ここ大台町にある千福寺は、柳原観音として親しまれており、本尊の十一面観音像は聖徳太子作と伝えられています。この観音は、10世紀後半に花山法皇が熊野詣の際、寺に参籠して「あらとつと手引たまえる観世音たかきやしき人をえらばず」(熊野詣を志す人は上下貴賤の区別なく観音様が導いてくれる)と詠んだという伝承にちなんで「手引観音」と呼ばれ、境内には「順礼手引」と刻まれた石柱も建てられています。

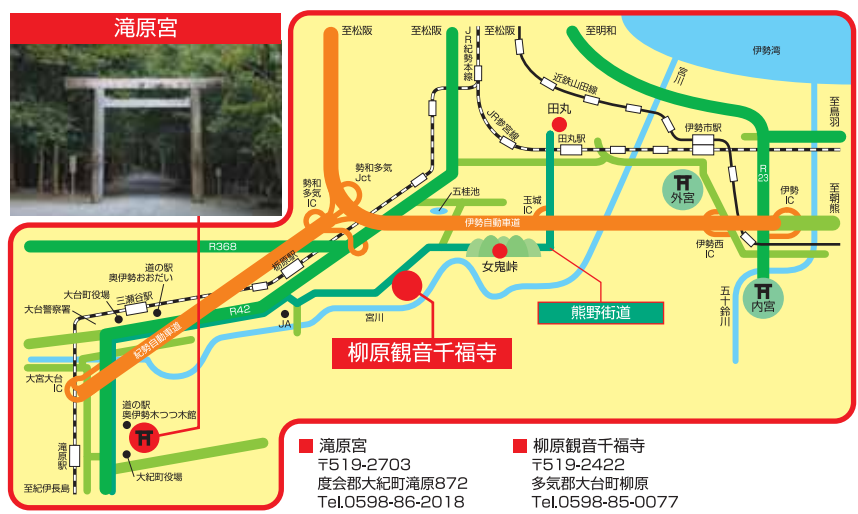
ここからさらに熊野街道は国道42号線と重なり合いながら南下し、大紀町滝原に鎮座する滝原宮の前を通っていきます。滝原宮は手前の滝原竝宮とともに皇大神宮(内宮)の別宮として天照大神を祀っており、倭姫命が天照大神の鎮座すべきよき地を求めて彷徨した際、一時この地に滞在したとされています。今でも境内および周辺には杉やヒノキの巨木が林立し、荘厳な雰囲気漂わせています。滝原宮に手を合わせ、しばしの休息をとった巡礼者たちは、次の峠であるツツノ峠・荷坂峠を目指して歩いていったのです。

三重大学人文学部・准教授
山田 雄司
(日本史・伊勢湾・熊野地域研究センター)

本誌お問い合わせ先

三重大学総務部広報チーム
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789
FAX 059-231-9623
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
*ご意見をお寄せください。

三重大 X [えっくす] vol.11
平成19年9月1日発行
●発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
©禁無断転載
本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。



■ 滝原宮
〒519-2703
度会郡大紀町滝原872
Tel.0598-86-2018

■ 柳原観音千福寺
〒519-2422
多気郡大台町柳原
Tel.0598-85-0077

＊お願い・ご報告

三重大学
振興基金へ
ご協力を
お願いします



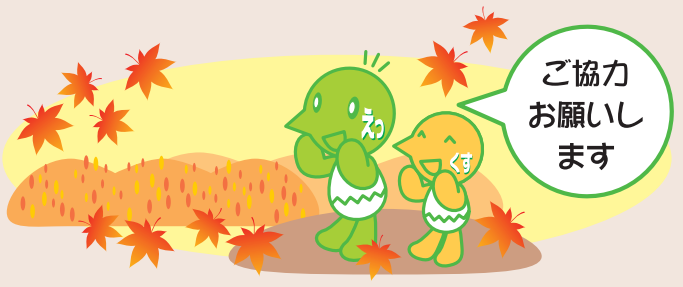
三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎ 学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎ 学生の修学環境整備事業
- ◎ 学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎ 地域貢献支援事業
- ◎ その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●
三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

ご郵送先・
お問い合わせ先

三重大学振興基金事務局
【総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>



メールマガジンご購読のお願い

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

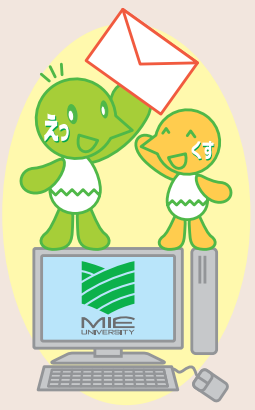
配信申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
 - ①「保護者」もしくは「一般」
 - ②お住いの都道府県

koho@ab.mie-u.ac.jp

携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくこととなりますので、できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。



アンケートに答えて…

●えっくすくん特製“えっくすくんわいわいストラップ”をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわいわいストラップ」をお送りします。どしどしお寄せください。(締切:11月末)

*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわいわいストラップ」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきに必要事項をご記入の上お送りください。



三重大学祭

期間
11月3日(SAT)~4日(SUN)
9:00~19:00

チャージブレイク〜君はナニイロ?〜

人間一人ひとり
みんながみんなステキなイロを持っている。
考え方も思いも違う。
三重大学祭という大っきなキャンパスに
キミはナニイロデエガク?



今年も、楽しい企画が盛りだくさん!
100店舗以上の模擬店が
あなたをお待ちしています。
そして、今年のアーティストは...?
乞うご期待!



★参加無料★豪華景品有り★

プレイイベント

10/27 SAT

テーマ/人生いろいろ

小雨決行 (予備日28日)

目指せ億万長者!!

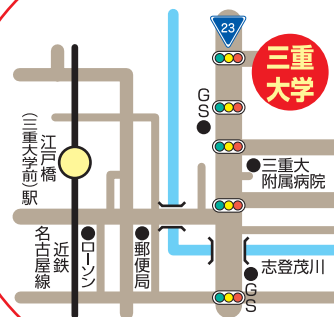
今年のプレイイベントはリアル人生ゲーム on the 三重大マップです!

★詳細は食堂前立て看板にてチェック★

(質問・参加希望: jibuniro-pre@hotmail.co.jp)

{ <http://jibuniro.aikotoba.jp/> } (9月に公開予定)

周辺詳細図



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から
津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>